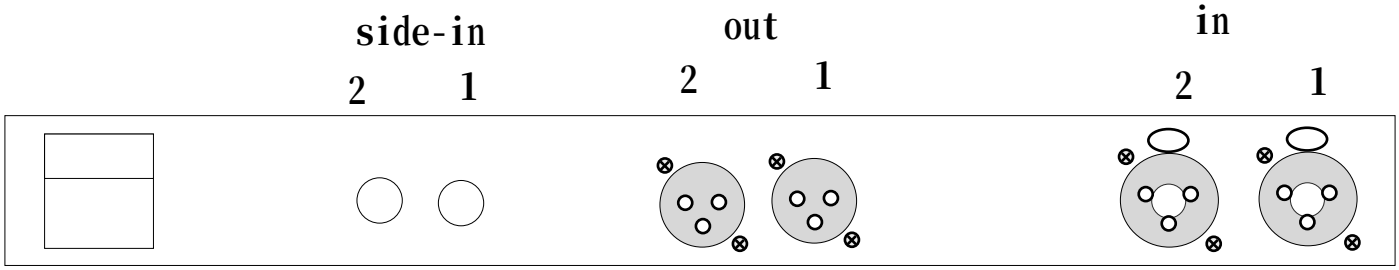
D4010-S　　簡易説明書　暫定版

SSLのコンプはチャンネルモジュール・マスターモジュール共に非常にユニークな設計となっています。チャンネルモジュールではとにかくアタックFastに設定することによりなにもしなくても音が前に出ます。この値を決めた人は非常に素晴しい設計者であると思います。このユニークなコンプの持ち味をさらに生かすためにVCAの追加、リンクの強化を図りました。

ご使用上のご注意

電源ケーブルは必ず付属のケーブルをお使いください。もし損失した場合は必ず菱形PSEマークの表示があるケーブルをお使いください。定格100Vですのでご注意ください。（定格以上の電圧で扱いになるとパーツの劣化が早くなります。）

接続方法　　インプットは全てバランスインプットで2番ホットです。(side in含)
アウトプットはアンバラアウトで二番ホットです。



通常のD4010はVCAがdbx2151ですが本機では電源スイッチ左の202C(SSL)スイッチを押すことによりVCAがdbx202(金タイプ）に切り替えられます。このVCAは現在は入手が不可能です。

また、SSLはダイオードを使った独特のリンクですがこのスペシャルタイプでは音声のミキシング回路を内蔵させモノラル信号で制御しています。矢印が示すようにリンクボタンを押すと左側の制御ノブは効果に関係一切関係なく、全て右側のノブに追従しますのでステレオ使用時でも設定が簡単に行えます。たとえ片側チャンネルに大きな信号が入っても左右同じ効果になります。

side-in

このボタンが押されると裏パネルのTRS端子に入力された信号でコンプが制御されます。ProToolsなどでサイドイン用にトラックをコピーしてタイミングを早めて入れてあげる事など色々な使い方が出来ます。

また、ここになにも接続されない場合でも本機のアウトが内部にて接続されています。通常はコンプが掛かる前の信号で制御されいるものがaide-inスイッチを押すだけで、コンプのアウト信号にて制御する事ができます。

ご注意、内部の半固定抵抗はいじらないでください。特にVCA基板の前からみて左側は歪率の調整ですので測定器がないと調整が出来ません。

外観・仕様に関してはお断り無く変更される場合もありますのでご了承ください。